

本研修の目的

教師海外研修は、開発途上国を実際に訪問することにより、開発途上国の置かれている状況や課題、日本と途上国の関係、国際協力の実情について理解を深めること、および、海外研修で得た経験を、次代を担う児童・生徒への国際理解教育・開発教育に役立ててもらうことを目的としています。

また、本研修参加後は、JICA 東北・JICA 二本松と連携し、教育現場・地域において国際理解教育・開発教育の推進のため協力いただくことを期待しています。

対象

青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校に勤務する教員。(国立・公立・私立の別は問いません)

主催

独立行政法人 国際協力機構 東北センター (JICA 東北)、二本松青年海外協力隊訓練所 (JICA 二本松)

後援

外務省、文部科学省、青森県教育委員会、岩手県教育委員会、秋田県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会

一年の流れ

研修	場所	日時	内容
第一次事前研修	JICA 東北	2023 年 6 月 24 日(土)	JICA 事業概要・研修概要説明(全国合同オンライン)、研修国事情等の説明(日程・安全管理)、チームビルディング、開発教育講座など
第二次事前研修	JICA 東北	2023 年 7 月 30 日(日)	開発教育ワークショップ体験、過年度参加教員による授業実践模擬授業、過年度参加教員との情報共有・つながりづくり、帰国後の授業実践についてなど
海外研修	モザンビーク	2023 年 8 月 10 日(木)～8 月 20 日(日)	JICA 事業の視察および関係者との交流、現地の学校訪問、教育関係者との意見交換、教材等の収集など
帰国後研修	JICA 東北	2023 年 9 月 10 日(日)	授業実践に向けた授業案の発表・検討・準備など
授業実践	各所属校	2023 年 10 月～11 月	研修で得た情報・体験を基にした授業実践
事後研修	JICA 東北	2024 年 1 月 27 日(日)	授業実践報告、振り返り、意見交換会など

2023 年度 教師海外研修 参加者リスト

No	氏名	県	学校名	校種	担当教科
1	山端 研人	青森県	八戸市立市川中学校	中	社会
2	渡邊 彩香	岩手県	一関市立室根小学校	小	全科
3	齋藤 暢	宮城県	仙台市立南小泉中学校夜間学級	中	数学
4	江本 真理子	宮城県	宮城県柴田高等学校	高	英語
5	佐藤 菜月	山形県	長井市立長井北中学校	中	社会
6	向田 智弘	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	高	英語
7	高橋 真由美	福島県	福島県立福島南高等学校	高	英語
8	渡部 真奈美	福島県	福島県立あさか開成高等学校	高	国語

開発教育ファシリテーター

1	浅野 隆二郎	宮城県	仙台市立榴岡小学校
---	--------	-----	-----------

業務調整

1	菊池 真美子	JICA 東北 市民参加協力課
---	--------	-----------------



<モザンビーク共和国>

出典：外務省ホームページ



一般事情

1. 面積 79.9 万平方キロメートル(日本の約 2 倍)
2. 人口 約 3,296 万人(2022 年：世銀)
3. 首都 マプト
4. 民族 マクア族、マコンデ族、ヤオ族、ツォンガ族など
5. 言語 ポルトガル語(公用語)、マクア語、シャンガーナ語など
6. 宗教 キリスト教(60%)、イスラム教(約 19%)、無宗教(約 14%)
土着宗教(約 20%)
7. 主要産業 (農林)とうもろこし、砂糖、カシューナッツ、綿花、たばこ、
木材
(漁業)エビ
(工鉱)アルミニウム、石炭、天然ガス、重砂、貴金属
8. GDP(国内総生産) 178 億米ドル(2022 年：世銀)
9. 教育関係
 - ・ 初等教育総就学率 121%(2022 年：世銀)
 - ・ 中等教育総就学率 38%(2022 年：世銀)

* 公式の就学年齢から外れた生徒が含まれる、同一学年の繰り返しにより 100%を超える場合がある。

 - ・ 成人(15 才以上)識字率 60%(2020 年：世銀)



<ちょっといい話・エピソード集>

- ・ 意外な世界一：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000480410.pdf>
- ・ 現地語の歌を通じ国民の人気を得た青年海外協力隊：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000480414.pdf>
- ・ 初めて日本に渡ったアフリカ人はモザンビーク人：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000480416.pdf>

研修日程

日数	日付	曜日	内容	宿泊先
1	8月10日	木	飛行機欠航のため、成田宿泊	成田泊
2	8月11日	金	成田空港発 移動	機中泊
3	8月12日	土	マプト空港着、市営市場・魚市場見学	マプト
4	8月13日	日	JICA モザンビーク事務所にてブリーフィング	マプト
			マファララ地区(マファララ博物館、スラム地区見学など)、駅博物館など中心市街地見学、JICA 海外協力隊員・JICA 関係者との交流	
			大学生 NGO 団体との意見交換・交流	
5	8月14日	月	富井佳織隊員(青年海外協力隊/青少年活動) 配属先「エル・シャダイコミュニティスクール」訪問 施設見学、授業視察・共同授業、生徒との交流、生徒へのインタビュー、協力隊員との交流	ボアネ
			産業人材育成センター(IFPELAC)視察	マシャバ
6	8月15日	火	モザンビーク教育人間開発省(教育省)視察、「新しい学校教育制度に対応したカリキュラム普及プロジェクト」概要説明・関係者との意見交換、岡本啓史専門家訪問	マプト
			中山舞子隊員（青年海外協力隊/経営管理）協力隊活動説明、起業家訪問、協力隊員との交流	マニッサ
			シャイシャイ市周辺 青年海外協力隊員との交流	シャイ シャイ
7	8月16日	水	金田将裕隊員（青年海外協力隊/理科教育）活動先「ジョアキンシサーノ中等教育学校」訪問 施設見学、金田隊員による教員研修の視察、教員との意見交換、金田隊員の生活圏訪問	シャイ シャイ
			岡本啓史専門家によるオンラインセッション(移動中)	
			マプト空港→ペイラ空港	
			辻貴行職員による自身が参加したモザンビークでの国際緊急援助隊(JDR)の活動説明	ペイラ
8	8月17日	木	ペイラ市役所訪問 「サイクロン・イダイ被災地域強化プロジェクト」関係者との意見交換、ペイラ市内被災地域視察	ペイラ
			マクルング初等教育学校訪問 施設・授業見学、学校関係者との意見交換	
			ペイラ空港→マプト空港	
9	8月18日	金	在モザンビーク日本大使館表敬訪問	マプト
			JICA モザンビーク事務所訪問(報告会、意見交換会)	
			モザンビーク空港発	
10	8月19日	土	成田空港着	機中泊
11	8月20日	日	帰路	